

## 平成26年度関西広域応援訓練の開催結果について（広域防災局）

「関西防災・減災プラン」に基づく関西広域応援訓練（図上訓練）を和歌山県庁をメイン会場として次のとおり実施しました。

この訓練で得た成果等については、関西広域応援・受援実施要綱への反映や、今後の災害対応等に活かして行くこととします。

### 1 訓練目的

- (1) 広域連合、構成団体、連携県及び防災関係機関の相互の連携強化や災害対応能力の向上
- (2) 広域連合、構成団体、連携県の応援・受援に係る活動の内容や手順の確認と課題の抽出

### 2 訓練概要

#### (1) 訓練日時

平成27年2月1日（日）12:30～17:30

#### (2) 訓練想定

和歌山県南方沖地震が発生した想定のもと、被災府県である和歌山県、徳島県及び三重県とその他の府県等とのカウンターパート方式による応援・受援訓練を行う。

被災府県	応援府県市
和歌山県	◎ 京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、奈良県
徳島県	◎ 兵庫県、神戸市、鳥取県
三重県	◎ 滋賀県、福井県

※ ◎ は応援幹事府県

#### (3) 訓練場所

##### ① 主会場（和歌山県庁）

- ・和歌山県災害対策本部（総合統制室）
- ・カウンターパート応援府県市による現地支援本部
- ・関係機関（自衛隊、和歌山県関係団体）



《訓練開会式（各府県市庁舎中継）》



《訓練の様子（和歌山県現地対策支援本部）》

##### ② その他会場（各府県庁・市役所等）

- ・広域連合災害対策本部（兵庫県庁）
- ・被災県（徳島県、三重県）災害対策本部
- ・応援府県市災害対策支援本部
- ・関係機関（国出先機関、応援協定締結団体 等）



《訓練の様子(広域連合災害対策本部)》



《訓練の様子(兵庫県災害対策支援本部)》

### 3 参加機関 (31機関約290名)

関西広域連合、和歌山県

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、徳島県、鳥取県、福井県、三重県、奈良県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

九州地方知事会(大分県)、九都県市(東京都)

内閣府、自衛隊、海上保安庁、近畿地方整備局、近畿運輸局 他

関係府県トラック協会、倉庫協会、和歌山県内ライフライン会社 他

### 4 メイン会場における外部検証員講評 (人と防災未来センター 宇田川研究主幹)

- ・ フェーズ毎に目的をもったメリハリの効いた訓練であった。
- ・ 全体的な訓練であるからこそ、見えてくる課題がある。
- ・ 大きな訓練を何度も積み重ねてやらないといけない。
- ・ 大切なことが2つ。分割と調整。分割は適切に個々の役割分担を決めて行うこと。調整は会議等で情報を共有してやるべきことを調整すること。情報にはストックとフォローがあり、それをしっかり動かしていくことが必要。
- ・ 総合防災情報システムで市町村から情報があがってくる仕組みは素晴らしい。
- ・ 今回は、合同で関西広域連合で広域応援訓練を行っており、物資を中心に、広域連合や東京都と大分県まで参加して、和歌山を起点として多くの関係機関で訓練を行えたことは有意義。